■ **白井光太郎** **植物学者。本草学最後の継承者で、世界初となる植物病理学講座を創始、発展させ、菌学を樹立した。**
しらいみつたろう
8月18日政変 1863 = 江戸霊岸島で、福井藩士の子に生まれる。

明治維新・1868 = 5歳 :

学問のすすめ1872 = **9歳** :
明治6年政変 1873 = 10歳 :

明治14年政変1881 = **18歳** :

帝国大学始・1886 = 23歳 : **帝国大学理科大学植物学科を卒業。理科大学となってからの最初の卒業生で、卒業論文は「蕨類」の日本初の研究。東京農林学校助教となり、**

国民之友始・1887 = 24歳 : **教授となる。**

初の対等条約1888 = 25歳 : エイサ・グレイ「植物自然分科検査表」を翻訳し刊行。

帝国憲法発布1889 = 26歳 :

帝国議会始・1890 = **27歳** : **東京帝国大学農科大学(東京大学農学部)に異動して助教となり、植物学講座を担当。**

大津事件・1891 = 28歳 : 明治初期から本草書の調査と収集してきた成果*「**日本博物学年表**」を刊行、**研究者の指針となる。**

郡司千島探検1893 = 30歳 : 「中等植物学教科書」刊行。翌年にかけて「**植物病理学**」上・下を刊行、

日清戦争始・1894 = 31歳 :

白馬会・1896 = 33歳 : 「中等植物学教科書」続編刊行。

Bushidou・1899 = **36歳** : 植物病理学の研究のため、**ドイツに留学**に出る際、日本ではほとんど研究が進んでいなかった**植物寄生菌の写生図や標本を多数持参し、ヨーロッパで記載されている種と比較**を行って、研究の進展に大きく貢献、

田中正造直訴1901 = 38歳 : 帰国。

日比谷公園・1903 = 40歳 : 「救荒植物」_「**最近植物病理学**」,

日露戦争終・1905 = 42歳 :

満鉄発足・1906 = 43歳 : ***東京帝国大学農科大学に世界初となる植物病理学講座を新設し、これを担当、**

韓国反日暴動1907 = 44歳 : **教授となる。**

アヲチ創刊・1908 = **45歳** :

この間、農作物の病菌の調査のため各地に出張し、

韓国併合・1910 = 47歳 : **理学博士、**

大逆事件判決1911 = 48歳 : この年発足した史蹟名勝天然記念物保存協会評議員、天然記念物調査会委員などでも活躍。

明治天皇没・1912 = 49歳 :

第一次大戦始1914 = 51歳 : 「植物妖異考」上・下刊行。

21ヶ条要求・1915 = 52歳 : 以後4年、東京農業大学の教授を兼任。

ロシア革命・1917 = **54歳** : 「**最新植物病理学提要**」刊行。三宅市郎と共著で「**日本菌類目録**」刊行。

本格政党内閣1918 = 55歳 : 「染料植物及染色篇」刊行、

大暴落・1920 = 57歳 : **日本植物病理学会を設立し、同会初代会長に就任。**

原敬首相暗殺1921 = 58歳 :

護憲三派圧勝1924 = 61歳 : **岡不崩らが創立した本草学会の会頭に迎えられ、**

治安維持法・1925 = 62歳 :

円本時代始・1926 = **63歳** :

世界恐慌・1929 = 66歳 : ***東京帝大を定年退官して以降、その研究発表誌(本草)の主筆として編集にあたったが、**

この間、本草学の古典李時珍「本草綱目」の和訳本「(頭註)国訳本草綱目」を校注、

満州事変・1931 = 68歳 : 「植物渡来考」刊行。

五一五事件・1932 = 69歳 : 東京で**創刊号をみずに、急死した。**

没後「樹木和名考」「本草学論攷」が刊行され、所蔵していた本草学関係文献が白井文庫として国立国会図書館に収めらる。